

市会発意第4号

イスラエル・パレスチナの紛争に対して恒久的平和実現を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出する

令和6年9月24日

発議者	福知山市議会議員	足立 伸一
賛成者	福知山市議会議員	大谷 洋介
〃	〃	吉見 純男
〃	〃	高橋 正樹
〃	〃	塩見 聡
〃	〃	中嶋 守
〃	〃	イシワタ マリ
〃	〃	荒川 浩司

福知山市議会議長 田 渕 裕 二 様

(別紙)

イスラエル・パレスチナの紛争に対して恒久的平和実現を求める意見書

パレスチナの武装勢力によるイスラエルへの大規模な軍事行動に端を発した紛争では、戦闘が長期化する中で、子どもや女性、高齢者を含む多くの死傷者が発生し、昨年10月の戦闘開始以降、ガザ地区の死者は4万人を超えている。

国際社会では、我が国をはじめ各国政府などから人道支援活動や停戦への働きかけが続いているが、停戦協議は難航し、イスラエルによるガザ地区への激しい攻撃が続いており、人の移動や物資の供給が大きく制限される中、食料や電力、医療品等の不足が深刻な状況にある。

また、大半の病院で機能が損なわれ、負傷者のみならず病人や新生児、幼い子どもまでもが尊い命を落としてしまう凄惨な状況に深く憂慮している。さらに、現在はイスラエルとレバノンの武装勢力との戦闘が激化し、中東の戦闘の広域化に懸念が高まっている。

福知山市は、「恒久平和都市宣言」を行い人類共通の願いである恒久平和の実現を希求してきた。

ついては、国におかれては、これまで以上に国際社会と連携し、人道的支援の継続、即時かつ恒久的な停戦の実現に向け、主導的な役割を果たしていただき、イスラエル・パレスチナ地域の恒久的平和が実現されるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年9月24日

衆議院議長 額 賀 福志郎 様
参議院議長 尾 辻 秀 久 様
内閣総理大臣 岸 田 文 雄 様
総務大臣 松 本 剛 明 様
外務大臣 上 川 陽 子 様
内閣官房長官 林 芳 正 様

福知山市議会議長 田 淵 裕 二